

令和6年度「アニマルウェルフェアに関する飼養管理指針」の
取組状況に係る調査

乳用牛の結果
(詳細版)

調査概要

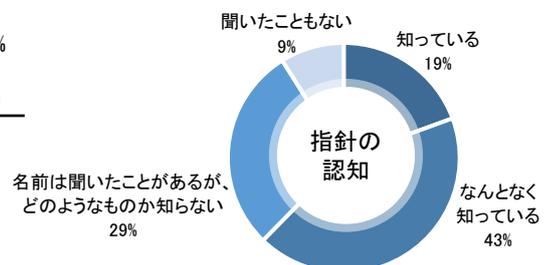
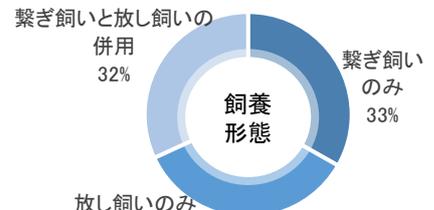
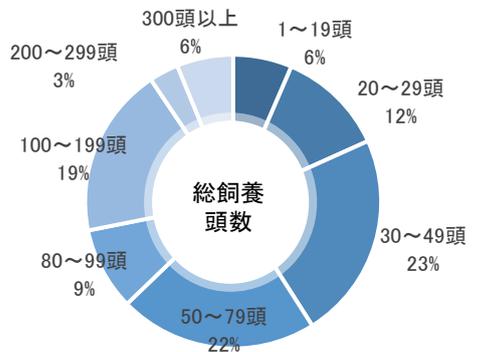
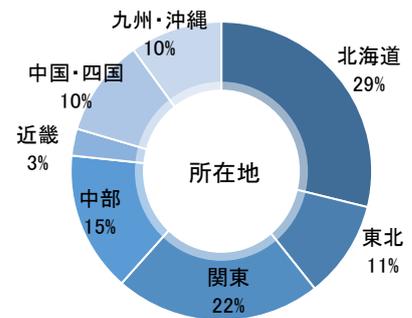
本調査は、農林水産省が令和5年7月に発出した「アニマルウェルフェアに関する飼養管理指針」の取組状況を把握し、今後の国内におけるアニマルウェルフェアの取組の推進のための基礎データとするため、**令和6年11月～令和7年2月**に全国の乳用牛の生産者を対象に実施したものである。

本調査の実施にあたっては、都道府県畜産主務課及び畜産関係団体（公益社団法人畜産技術協会）の協力のもと**オンラインフォームまたは紙の調査票**を通じて回答を回収し、農林水産省において、各設問の有効回答の積み上げにより集計を実施した。

本調査への**総回答数は、375件**であった。なお、調査結果の集計にあたり、無回答及び無効回答の排除等の処理を行ったため、設問間で回答数が一致しない場合がある。

○ 基本情報

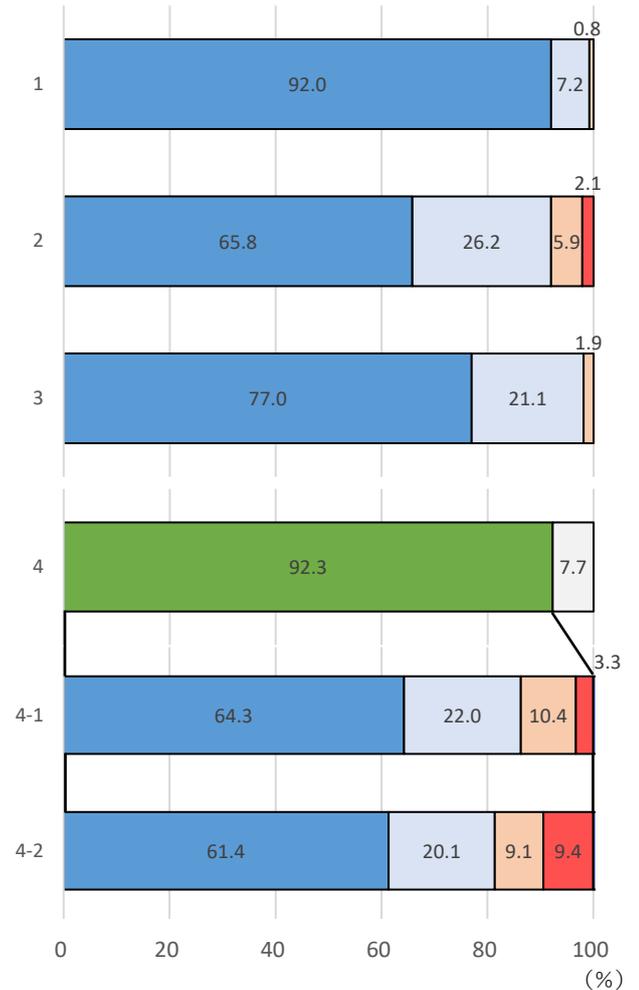
	回答数	割合
1 貴農場の所在地を記載してください。全体	343	100.0%
北海道	99	28.9%
東北地方	36	10.5%
関東地方	76	22.2%
中部地方	52	15.2%
近畿地方	10	2.9%
中国・四国地方	36	10.5%
九州・沖縄地方	34	9.9%
2 貴農場における搾乳牛の総飼養頭数について当てはまる選択肢を選択してください。全体	373	100.0%
1～19頭	24	6.4%
20～29頭	44	11.8%
30～49頭	85	22.8%
50～79頭	81	21.7%
80～99頭	34	9.1%
100～199頭	70	18.8%
200～299頭	12	3.2%
300頭以上	23	6.2%
3 貴農場の飼養形態を選択してください。全体	373	100.0%
繋ぎ飼いのみ	124	33.2%
放し飼いのみ	130	34.9%
繋ぎ飼いと放し飼いの併用	119	31.9%
4 令和5年7月に農林水産省が発出した「アニマルウェルフェアに関する飼養管理指針」について、どのようなものか知っていますか。全体	371	100.0%
知っている	72	19.4%
なんとなく知っている	159	42.9%
名前は聞いたことがあるが、どのようなものか知らない	107	28.8%
聞いたこともない	33	8.9%



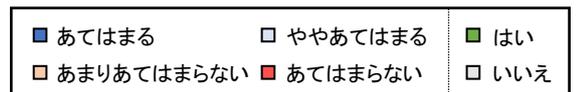
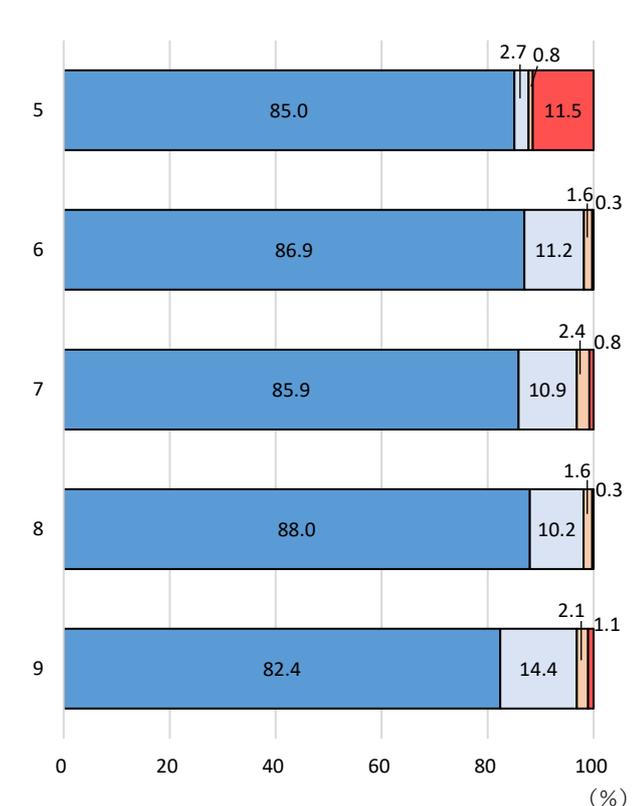
○ 飼養管理に関すること

1 管理方法について

		回答数	割合
1 1日1回以上、牛の飼養環境や健康状態を確認している。	全体	375	100.0%
	あてはまる	345	92.0%
	ややあてはまる	27	7.2%
	あまりあてはまらない	3	0.8%
	あてはまらない	0	0.0%
2 飼養管理に関する記録(日誌や報告書等)をつけている。	全体	374	100.0%
	あてはまる	246	65.8%
	ややあてはまる	98	26.2%
	あまりあてはまらない	22	5.9%
	あてはまらない	8	2.1%
3 牛に不要なストレスを与える突発的な行動や手荒な扱いを避けるとともに、牛を取り扱う際に使用する道具は、不要な痛みを与える可能性のあるものを避けるなど、可能な限り牛を丁寧に取り扱っている。	全体	374	100.0%
	あてはまる	288	77.0%
	ややあてはまる	79	21.1%
	あまりあてはまらない	7	1.9%
	あてはまらない	0	0.0%
4 除角を行っている。 (「はい」を選択した場合、以下4-1、4-2に回答)	全体	375	100.0%
	はい	346	92.3%
	いいえ	29	7.7%
4-1 除角は、獣医師等※の指導の下、可能な限り苦痛を生じさせない時期と方法を選択している。 ※処置に係る知識と熟練した技術を有する者	全体	336	100.0%
	あてはまる	216	64.3%
	ややあてはまる	74	22.0%
	あまりあてはまらない	35	10.4%
	あてはまらない	11	3.3%
4-2 除角は、触ると角が分かるようになる時期以降で、角が未発達の時期(遅くとも生後2か月以内)に行っている。または、角が発達後に除角する場合、常に獣医師による麻酔薬の投与の下で行っている。	全体	339	100.0%
	あてはまる	208	61.4%
	ややあてはまる	68	20.1%
	あまりあてはまらない	31	9.1%
	あてはまらない	32	9.4%



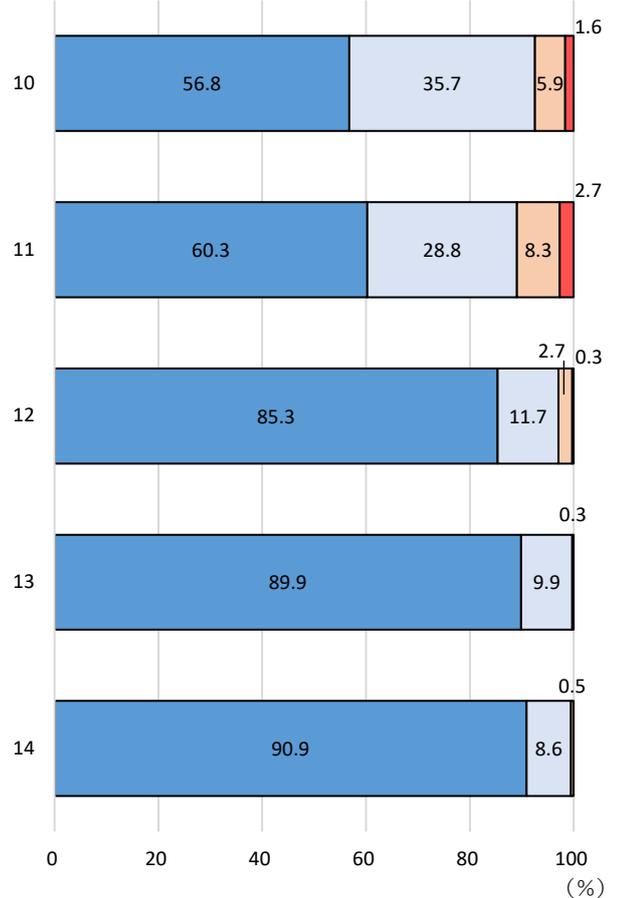
		回答数	割合
5 断尾は行っていない。	全体	374	100.0%
	あてはまる	318	85.0%
	ややあてはまる	10	2.7%
	あまりあてはまらない	3	0.8%
	あてはまらない	43	11.5%
6 耳標を装着する際、牛へのストレスを極力減らし、可能な限り苦痛を生じさせないよう、適切な位置に装着している。	全体	375	100.0%
	あてはまる	326	86.9%
	ややあてはまる	42	11.2%
	あまりあてはまらない	6	1.6%
	あてはまらない	1	0.3%
7 こまめに蹄を観察し、定期的に削蹄を行っている。	全体	375	100.0%
	あてはまる	322	85.9%
	ややあてはまる	41	10.9%
	あまりあてはまらない	9	2.4%
	あてはまらない	3	0.8%
8 搾乳作業は牛に苦痛やストレスがからないように配慮している。	全体	374	100.0%
	あてはまる	329	88.0%
	ややあてはまる	38	10.2%
	あまりあてはまらない	6	1.6%
	あてはまらない	1	0.3%
9 繁殖にあたり、雌牛の性成熟の程度や体格等を考慮して、交配する種雄牛や性選別精液の選択に注意している。	全体	375	100.0%
	あてはまる	309	82.4%
	ややあてはまる	54	14.4%
	あまりあてはまらない	8	2.1%
	あてはまらない	4	1.1%



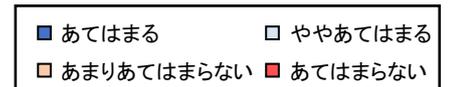
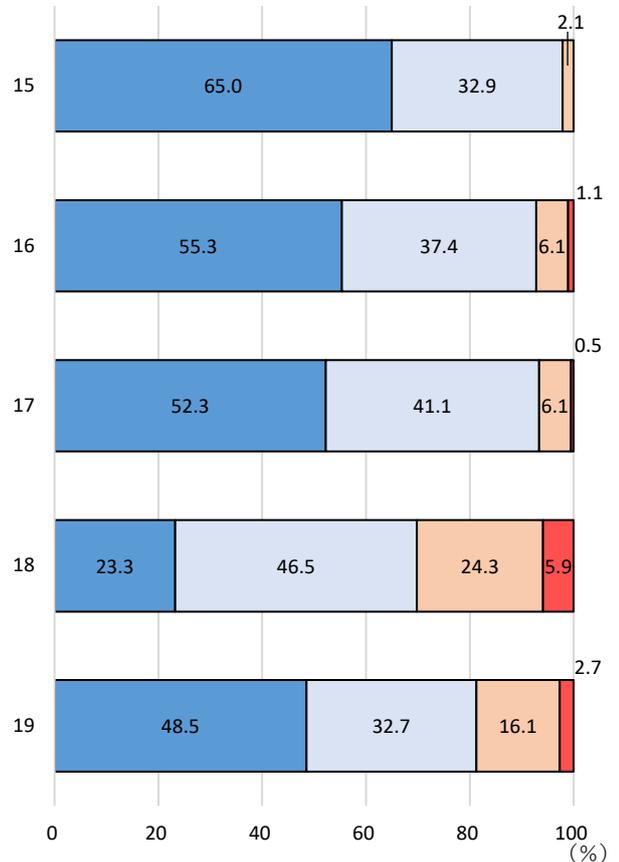
○ 飼養管理に関すること

1 管理方法について（続き）

		回答数	割合
10 妊娠牛には、分娩前に清潔で快適な環境（敷料、分娩房の提供、適切な気温、衛生等）を提供している。	全体	375	100.0%
	あてはまる	213	56.8%
	ややあてはまる	134	35.7%
	あまりあてはまらない	22	5.9%
	あてはまらない	6	1.6%
11 夜間の分娩に備えた照明、保温及び滑り止めのための敷料等を提供している。	全体	375	100.0%
	あてはまる	226	60.3%
	ややあてはまる	108	28.8%
	あまりあてはまらない	31	8.3%
	あてはまらない	10	2.7%
12 新生子牛は丁寧に取り扱い、出荷等の輸送をする場合は臍帯が乾燥した後に行っている。	全体	375	100.0%
	あてはまる	320	85.3%
	ややあてはまる	44	11.7%
	あまりあてはまらない	10	2.7%
	あてはまらない	1	0.3%
13 出生した子牛には、24時間以内（最も効果的なのは6時間以内）に良質な初乳を十分量飲ませている。	全体	375	100.0%
	あてはまる	337	89.9%
	ややあてはまる	37	9.9%
	あまりあてはまらない	1	0.3%
	あてはまらない	0	0.0%
14 疾病に罹患した牛又は損傷した牛について、治療等の対応を決めるため、獣医師による速やかな診断を受けている。	全体	374	100.0%
	あてはまる	340	90.9%
	ややあてはまる	32	8.6%
	あまりあてはまらない	2	0.5%
	あてはまらない	0	0.0%

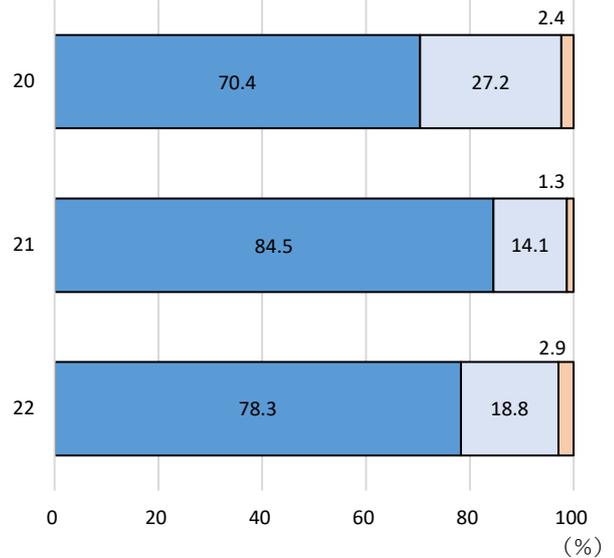


		回答数	割合
15 牛舎の清掃や消毒等を行い、施設、設備等を清潔に保っている。	全体	374	100.0%
	あてはまる	243	65.0%
	ややあてはまる	123	32.9%
	あまりあてはまらない	8	2.1%
	あてはまらない	0	0.0%
16 家畜伝染病予防法に基づく「飼養衛生管理基準」を遵守するとともに、「飼養衛生管理マニュアル」を作成し、日常から伝染性疾患の発生予防に必要な知識を習得している。	全体	374	100.0%
	あてはまる	207	55.3%
	ややあてはまる	140	37.4%
	あまりあてはまらない	23	6.1%
	あてはまらない	4	1.1%
17 病原体を伝播する有害動物や吸血昆虫、外部寄生虫の侵入及び発生を防止するとともに、発生時は速やかに駆除している。	全体	375	100.0%
	あてはまる	196	52.3%
	ややあてはまる	154	41.1%
	あまりあてはまらない	23	6.1%
	あてはまらない	2	0.5%
18 アニマルウェルフェアの指標や改善方法について知識を身に付けている。	全体	374	100.0%
	あてはまる	87	23.3%
	ややあてはまる	174	46.5%
	あまりあてはまらない	91	24.3%
	あてはまらない	22	5.9%
19 牛の健康及び良好な飼養環境を確保するため、十分な人数の飼養者等を確保している。	全体	373	100.0%
	あてはまる	181	48.5%
	ややあてはまる	122	32.7%
	あまりあてはまらない	60	16.1%
	あてはまらない	10	2.7%



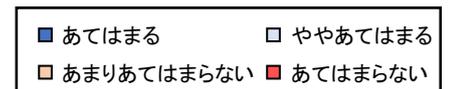
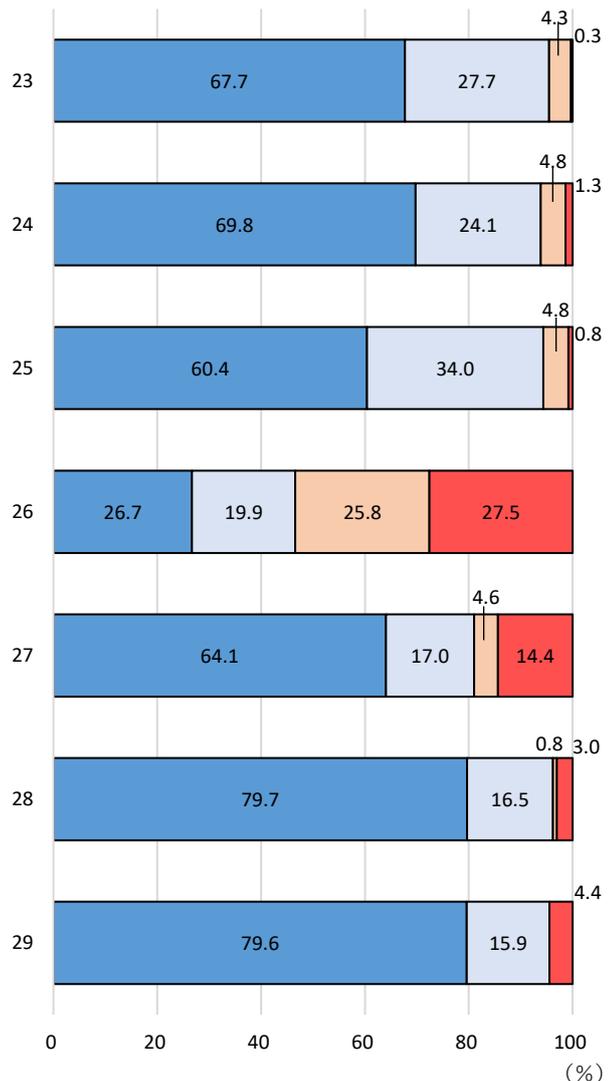
○ 飼養管理に関すること 2 栄養について

		回答数	割合
20 発育段階や泌乳ステージ等に応じて、毎日、飼料及び水を質及び量ともに満たすよう給与し、適正なボディコンディションの範囲を逸脱しないように管理している。	全体	375	100.0%
	あてはまる	264	70.4%
	ややあてはまる	102	27.2%
	あまりあてはまらない	9	2.4%
	あてはまらない	0	0.0%
21 全ての牛が必要な量の飼料、水及び栄養を問題なく摂取できるよう、飼槽や給水器など給餌及び給水の設備を設置している。	全体	375	100.0%
	あてはまる	317	84.5%
	ややあてはまる	53	14.1%
	あまりあてはまらない	5	1.3%
	あてはまらない	0	0.0%
22 給餌及び給水の設備は、定期的に点検及び清掃を行っている。	全体	373	100.0%
	あてはまる	292	78.3%
	ややあてはまる	70	18.8%
	あまりあてはまらない	11	2.9%
	あてはまらない	0	0.0%



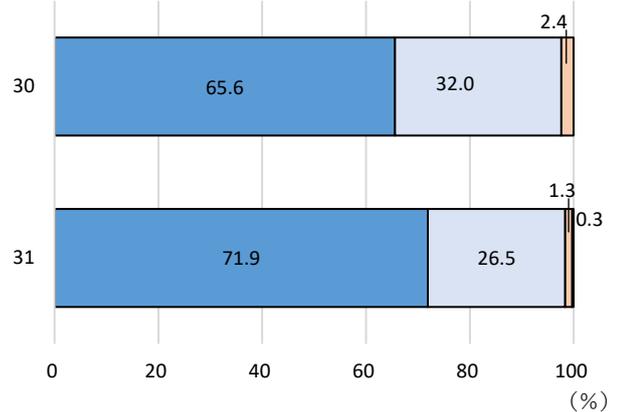
○ 飼養管理に関すること 3 牛舎と飼養方式について

		回答数	割合
23 牛舎や牛房、通路、搾乳室等は、牛が損傷しないよう、適切に設計・管理している。	全体	375	100.0%
	あてはまる	254	67.7%
	ややあてはまる	104	27.7%
	あまりあてはまらない	16	4.3%
	あてはまらない	1	0.3%
24 牛床には敷料があり、清潔で乾燥した横臥場所を提供している。	全体	374	100.0%
	あてはまる	261	69.8%
	ややあてはまる	90	24.1%
	あまりあてはまらない	18	4.8%
	あてはまらない	5	1.3%
25 全ての牛に対して、妨げられることなく横臥し、休息し、起立し、毛繕いするために十分な空間を与えている。	全体	374	100.0%
	あてはまる	226	60.4%
	ややあてはまる	127	34.0%
	あまりあてはまらない	18	4.8%
	あてはまらない	3	0.8%
26 繋ぎ飼い方式で飼われている牛は、繋がれていない状態で運動が十分にできるようにしている。	全体	236	100.0%
	あてはまる	63	26.7%
	ややあてはまる	47	19.9%
	あまりあてはまらない	61	25.8%
	あてはまらない	65	27.5%
27 繋ぎ飼い方式の場合でカウトレーナーを使用する場合は、適切な方法で設置し、使用している。	全体	153	100.0%
	あてはまる	98	64.1%
	ややあてはまる	26	17.0%
	あまりあてはまらない	7	4.6%
	あてはまらない	22	14.4%
28 フリーストール牛舎の場合、少なくとも1頭当たり1牛床を準備している。	全体	133	100.0%
	あてはまる	106	79.7%
	ややあてはまる	22	16.5%
	あまりあてはまらない	1	0.8%
	あてはまらない	4	3.0%
29 放牧している場合、電気柵やゲート等、牛への損傷を防止するように正しく設置及び維持している。	全体	113	100.0%
	あてはまる	90	79.6%
	ややあてはまる	18	15.9%
	あまりあてはまらない	0	0.0%
	あてはまらない	5	4.4%



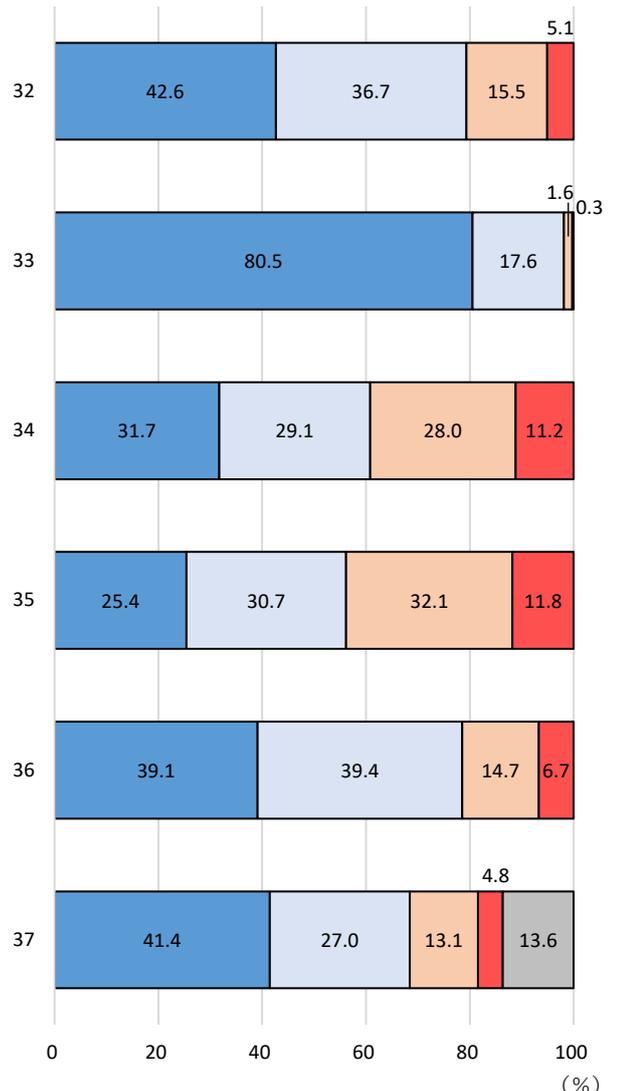
○ 飼養管理に関すること 4 牛舎の環境について

		回答数	割合
30 牛が快適性を維持できるように、暑熱対策や寒冷対策を行っている。	全体	375	100.0%
	あてはまる	246	65.6%
	ややあてはまる	120	32.0%
	あまりあてはまらない	9	2.4%
	あてはまらない	0	0.0%
31 牛舎内でのアンモニアやほこりの滞留がないよう、常に新鮮な空気を供給できるよう適切な換気を行っている。	全体	374	100.0%
	あてはまる	269	71.9%
	ややあてはまる	99	26.5%
	あまりあてはまらない	5	1.3%
	あてはまらない	1	0.3%



○ 飼養管理に関すること 5 アニマルウェルフェアの状態確認等について

		回答数	割合
32 「乳用牛の飼養管理に関する技術的な指針」に関するチェックリスト等(その他類似するチェックシートを含む)を用いるなど、アニマルウェルフェアの観点で定期的に飼養管理の現状を確認している。	全体	373	100.0%
	あてはまる	159	42.6%
	ややあてはまる	137	36.7%
	あまりあてはまらない	58	15.5%
	あてはまらない	19	5.1%
33 搾乳機等の設備が正常に作動しているか少なくとも1日1回点検し、故障を発見した場合、迅速に修理している。	全体	375	100.0%
	あてはまる	302	80.5%
	ややあてはまる	66	17.6%
	あまりあてはまらない	6	1.6%
	あてはまらない	1	0.3%
34 災害による影響を可能な限り小さく抑えるため、危機管理マニュアル(緊急連絡網・緊急時の対応をまとめたもの)等を整備している。	全体	375	100.0%
	あてはまる	119	31.7%
	ややあてはまる	109	29.1%
	あまりあてはまらない	105	28.0%
	あてはまらない	42	11.2%
35 危機管理マニュアル等を習熟するとともに、全ての農場関係者と共有している。	全体	374	100.0%
	あてはまる	95	25.4%
	ややあてはまる	115	30.7%
	あまりあてはまらない	120	32.1%
	あてはまらない	44	11.8%
36 自然災害等の影響により、牛や牛舎等に被害が生じるおそれがある場合、可能な限り、事前に対策をとっている。	全体	373	100.0%
	あてはまる	146	39.1%
	ややあてはまる	147	39.4%
	あまりあてはまらない	55	14.7%
	あてはまらない	25	6.7%
37 警報や発電機などの予備システムは、機器のメーカーの推奨する頻度を考慮し、定期的に点検している。	全体	374	100.0%
	あてはまる	155	41.4% (48.0%)
	ややあてはまる	101	27.0% (31.3%)
	あまりあてはまらない	49	13.1% (15.2%)
	あてはまらない	18	4.8% (5.6%)
	非該当(予備システムを設置していない)	51	13.6%

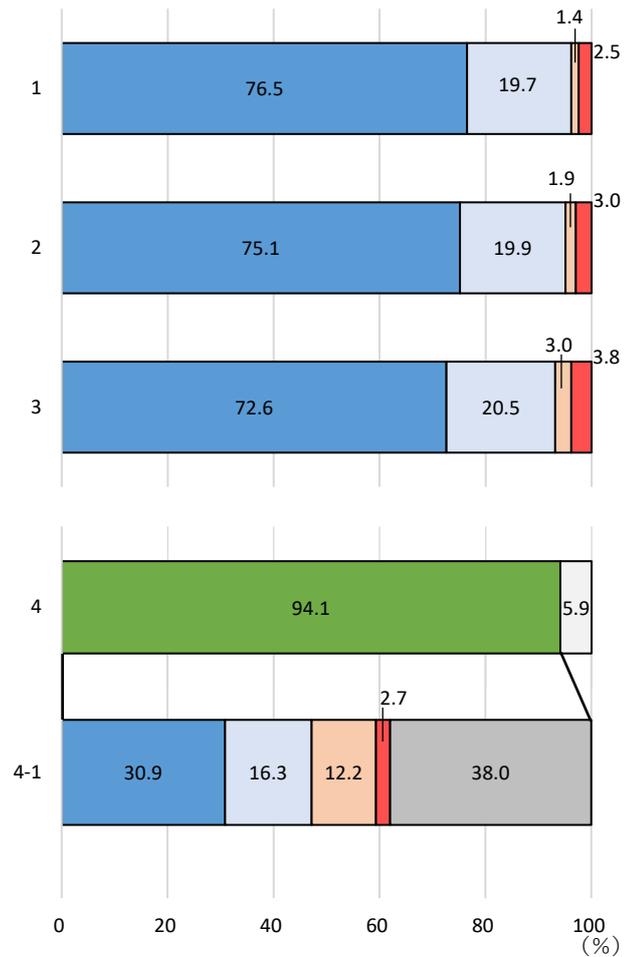


※()内は非該当数を除いたときの割合

■ あてはまる □ ややあてはまる
■ あまりあてはまらない ■ あてはまらない ■ 非該当

○ 輸送に関すること

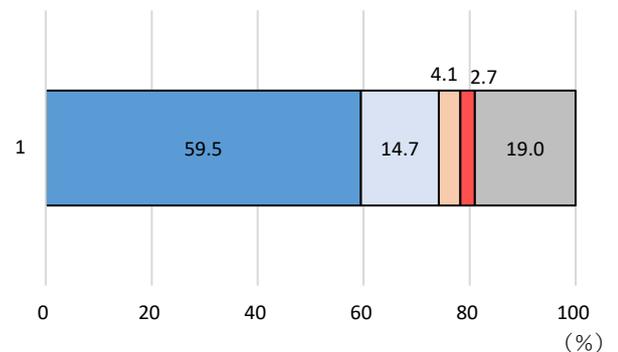
		回答数	割合
1 家畜の輸送に携わる全ての者が、家畜を丁寧に取扱い、責任を持って家畜を輸送している。	全体	366	100.0%
	あてはまる	280	76.5%
	ややあてはまる	72	19.7%
	あまりあてはまらない	5	1.4%
	あてはまらない	9	2.5%
2 輸送が家畜にとって過度な負担とならないよう、また、不要なストレスを与えないよう注意している。	全体	366	100.0%
	あてはまる	275	75.1%
	ややあてはまる	73	19.9%
	あまりあてはまらない	7	1.9%
	あてはまらない	11	3.0%
3 輸送にかかる総時間は最小限となるようにしている。	全体	365	100.0%
	あてはまる	265	72.6%
	ややあてはまる	75	20.5%
	あまりあてはまらない	11	3.0%
	あてはまらない	14	3.8%
4 家畜の輸送は、運送業者等外部に委託している。 (「はい」を選択した場合、以下4-1に回答)	全体	374	100.0%
	はい	352	94.1%
	いいえ	22	5.9%
4-1 家畜の輸送を運送業者等外部に委託する際に、委託条件の中にアニマルウェルフェアへの配慮や丁寧な取扱いに関する事項が盛り込まれている。	全体	337	100.0%
	あてはまる	104	30.9% (49.8%)
	ややあてはまる	55	16.3% (26.3%)
	あまりあてはまらない	41	12.2% (19.6%)
	あてはまらない	9	2.7% (4.3%)
	非該当 (確認できない)	128	38.0%



※()内は非該当数を除いたときの割合

○ 家畜の農場内における安楽死

		回答数	割合
1 獣医師の診断を踏まえ、判断権限がある者がその家畜を安楽死させることを決定した場合、「家畜の農場内における安楽死に関する技術的な指針」を参照し適切に行っている。	全体	368	100.0%
	あてはまる	219	59.5% (73.5%)
	ややあてはまる	54	14.7% (18.1%)
	あまりあてはまらない	15	4.1% (5.0%)
	あてはまらない	10	2.7% (3.4%)
	非該当 (行う機会がない)	70	19.0%



※()内は非該当数を除いたときの割合

